

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	みさき佃保育園		
運営法人名称	社会福祉法人 美咲会		
福祉サービスの種別	保育所		
代表者氏名	園長 前田 かすみ		
定員（利用人数）	92 名（67 名）		
事業所所在地	〒 555-0001 大阪市西淀川区佃1丁目1番55号		
電話番号	06 - 6477 - 3630		
FAX番号	06 - 6477 - 3631		
ホームページアドレス	http://www.misakikai.jp/misakitsukuda/		
電子メールアドレス	tsukuda@misakikai.jp		
事業開始年月日	平成22年4月1日		
職員・従業員数※	正規	12 名	非正規 11 名
専門職員※	園長1名、副園長1名、保育士14名、		
施設・設備の概要※	[居室]		
	[設備等] 保育室 3 乳児室 1 ほふく室 1 調乳室 1 調理室 1 事務室 1 保健室 1 職員更衣室 1 トイレ6か所 屋上庭園、 エレベーター1基		

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	一回
前回の受審時期	一年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

【保育理念】

- 子どもを主体として大切にし、愛しい存在として認め、その命を守る。
- 人としてよりよく生きていくための大切な力を育てる。
- すべての子育て家庭を視野に入れ総合的に子育てを支援する。

【保育目標】

- 養護の充実を十分に図り、日々の生活が、心身共に安定した中で送れるように信頼関係（愛着心）を深める。
- 他者と共生する力（聞く力・人間関係を結ぶ力）、自己実現を果たそうとする力（自分で考えて、判断し、表現する力）の育成を図る。
- 保育園の社会的役割を十分に理解し、児童福祉の向上、家庭支援・子育て支援の充実を図る。

【施設・事業所の特徴的な取組】

• みさき佃保育園は、社会福祉法人美咲会の人と人とがお互いに関係を持ちながら、一つの輪を作っていく「出会い・ふれあい」を大切にした「人間性の尊重」を運営の理念として、2010年1月大阪市より認可許可を受け、2010年4月に大阪市西淀川区に開園した保育園である。系列園として、2015年12月より大阪市より民間移管を受け、2017年4月に開設した「あすか保育園」もある。2園は共通理念のもと、お互いに交流を進めている。

• 育児担当制保育（人間関係の基礎は、愛着関係の育みを大切にし、0～2歳児は育児担当を取り入れ、より丁寧な、家庭にできるだけ近い対応を心がけ、子どもが安心・安全な中で保育が受けられるように努めている）を実施している。

• 環境保育（年齢や興味関心に応じた環境を用意し、子ども達がじっくりと遊べる環境を作り、子ども達が本来持っている力を引き出していく）を基本とする異年齢保育、特別支援保育（障がい児4名受け入れ保育を進めている）を実施している。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
大阪府認証番号	270012
評価実施期間	平成31年4月26日～令和2年1月21日
評価決定年月日	令和2年1月21日
評価調査者（役割）	1401C047（運営管理・専門職委員） 1401C050（運営管理・専門職委員） （ ）

【総評】

◆評価機関総合コメント

- 社会福祉法人美咲会は、「人を大切にする」法人理念のもと、2園の保育園を開設し、保育所運営にあたっている。
- 子どもの心を大切に優しい言葉かけを行い、丁寧に保育を進めるよう努力している。
- 保育園は運営の更なる適正化を試みている。
アンケートの回答からも保護者の信頼が厚い保育園といえる。
- 乳児の保育に育児担当制を導入して、信頼関係の構築を目指している。また、3～5歳児は、異年齢の縦割り保育を実施し、関わりを大切にするすることで、子ども自身が考えて行動できるように促し人をいたわる気持ちを育み、自己肯定感の育成に努めている。
- 地域社会との連携を大切にし、地域交流や他機関との連携も深めている。理事会に地域の自治会長が参加しており、地域のニーズや情報の収集が的確に行われ、良好な関係で地域に根付いている。
- 現状に甘んじることなく、園の理念や基本方針を分かりやすい言葉で表現するように見直しを行い、第三者評価の受審に際し全職員で取組み話し合いを行うなど、積極的に保育の改善に取り組んでいる。

◆特に評価の高い点

- 保育士が丁寧に子どもと関わり、縦割り保育の良い点である年齢の差を子ども達が意識し積極的な関わり姿が見られ、子どもの成長につながるように配慮して保育している。
- 整備された環境で、子どもの安心・安全が確保されている。
- 保育園として設計された施設であり、子どもや保育士の動きやすい配置になっている。
- 職員間の意思疎通が良好で保育所に対する保護者の信頼が厚い。

◆改善を求められる点

- 全職員で学んでいくピラミッドメソッド（オランダの幼児教育法）などを、積極的に取り入れ計画的に年間研修予定の中に位置付け、より一層の研鑽を望む。
- 保護者は、実態に即して情報提供を望んでおり、情報発信をより細かく実施され保護者の要望に応えるよう望む。また、情報発信の多様化と深化を進め、保護者の理解が広がるような取組みを望む。
- 5階建ての建物の構造上、園外に避難する場合の安全な避難対策の作成を望む。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

先日は、第三者評価の結果報告書を送付していただきありがとうございました。今後の課題なども見えてきた中で、特に（b）評価の項目に関しては、改善に向けて取り組んでまいりたいと思います。

看護師配置につきましては、模索中です。（a）評価の項目につきましても、今後も引き続き、よりよい保育が提供できるよう努力してまいります。

◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針		
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念・基本方針は、明文化されており、職員にも職員会議や入職時の面談、年度途中の面談等で周知されている。保護者にはエントランスに掲示し、入園のしおり、重要事項説明書、パンフレット、ホームページ等に掲載されている。入園時や4月のお便りにも載せている。 	

		評価結果
Ⅰ-2 経営状況の把握		
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの細かな情報収集を随時行い、データを分析して経営方針を策定している。策定された情報は園内のLANを活用して職員にも知らされている。 ・地域の情報を積極的に収集して園の課題を明確にしている。 	
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金の返済については、長期計画を基に具体的な年次計画を立て、事業計画を見直して計画的に実施されている。 ・保育士が保育の重要な部分を占めることを踏まえて、給与改善やワーク・ライフ・バランス・休暇取得率の向上などの処遇改善に積極的に取り組んでいる。 	

		評価結果
Ⅰ-3 事業計画の策定		
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・中期の計画を策定し、理念を基に経営環境の認識、経営方針、マーケティングを行っている。 ・資金計画には、保育の将来像、人材、財務、地域、組織と人の在り方を含められている。 ・経営環境の認識や人口動向、財務状況を踏まえた経営方針が示されている。 	

5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画を基に、園の進むべき方向を明確にし、取組を進めている。理念・基本方針を含め、施設の運営（児童の処遇、職員の処遇、施設管理、保護者に向けて、地域社会との連携他）単年度の収支予算まで含めて計画し、職員の周知も図り運営を進めている。 		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催される管理職会議（理事長・あすか・みさき佃の両園長・副園長で構成）で討議され、職員会議で周知・確認され職員の意見を取り入れて見直しを行う体制があり、理事長が現場の状況を把握して事業計画の策定を行っている。 		
7	I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は、入園のしおりにも掲載され、保護者説明会や懇談会等でも説明されている。具体的な内容はその都度説明されている。 ・保護者には必要に応じて個人面談を実施している。また、玄関にも置かれていて、保護者が手に取って見ている姿もあり、その際には内容について園側から話をして、理解が深まるように促している。 		

			評価結果
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上に向け、昨年度まではプロジェクトチームを編成し、環境・個別保育・危機管理の3部会に分かれて研究を進めてきた。その結果を踏まえて、保育の見直しを行い、園全体の保育の深化に繋がった。 ・危険個所の改善や育児担当制での関わりを見直す、また環境を見直すことで菜園活動の工夫やピラミッドメソッドなど新たな保育の取組に繋がっている。 		
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年保護者アンケートを実施しアンケート結果を踏まえて、保育参加の方法を改善し、保護者がより参加しやすいように変えている。 ・第三者評価を受けて園内で話し合いを行い、その会議を踏まえて自己評価表を作成していた。 		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を込めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 園長は、職務分担表ではっきりと役割を明確にしている。単年度計画の中でも、園内の保育の進め方に指導力を発揮し、ピラミッドメソッドの研修参加を踏まえて、積極的に推進している。 権限委任についても明確にしている。 	
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 法人としてコンプライアンス遵守規定を策定して、遵守すべき法令等の大阪市や社会福祉協議会等の研修会にも参加し、より理解が深まるように努力している。 研修会に参加した結果を職員会議や園内での話し合いの際に伝え、職員にも伝達研修できる取組みを進めている。 	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> みさき佃保育園で実施されている育児担当制や縦割り保育について、園長自らが研修会に参加し、先進園を見学し見識を深めて実施している。 職員に研修内容を伝え、協議しながら保育を進める努力を行っている。 職員にも研修会への積極的な参加を保障するように単年度計画の中でも明記し、実施して職員への周知を行っている。 	
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 園長は、理事会や管理職会議等で経営状況や改善への取組について話し合い、その改善内容を職員に職員会議や園内のLANを活用し周知・徹底し、伝達が速く行われ実行し、浸透していくように取組を進めている。 	

		評価結果
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成		
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針で謳われている「保育園は保育士が大切である」ことを踏まえて、職員の長期雇用への努力や労働条件の改善に向け取組みを進めている。 職員との良好な人間関係が構築されるように面談を実施し、会議等にも積極的に参加し意見交換するようにしている。 実習生やインターンシップ等の機会を活用して、園の実情をしっかりと伝え相互理解の上で人材の確保できるように努力している。 	

15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針を基に職員モデルを提示し、人事基準を明確に示し職員に提示している。また、年3回個人面談を実施し、今年度からはトライアルシート（学びたいこと深めたいことを記入する）を活用し、中期の見直し年度末の振り返りシートを実施してる。 ・10年目を迎えているが、キャリアパスが明確にされておらず、今後はキャリアパス制度を構築し先に見える形での人事管理を行われたい。 	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・長く勤めてもらうことを大切に考えて職員の処遇改善に努めている。時間外勤務も少なく、意思疎通も良好で、休暇も取りやすく働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ・法人として処遇改善に取組み、業務の効率的な運営の為に、パソコンの活用や書類の簡素化にも取り組んでいる。 	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員モデルを職員とともに確認し、保育の実践に活用している。 ・今年度より年度初めにトライアルシートを活用した目標設定を行い、中間見直し、年度末に振り返りを行う計画がされている。 	
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画・単年度計画の中に、職員の教育・研修に関する基本方針や計画が示されている。昨年度は、100回以上の研修会参加が行われ、今年度は10月までの研修実施でも40回以上の研修が行われた。その研修内容は職員会議等で報告され、文書で回覧している。 ・職員が自ら学びたい研修を申告し、研修計画に反映する仕組みの実現を望む。 	
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの職員の状況を踏まえて、希望する研修会に参加できるように保育体制を整備し研修会参加を促している。 ・研修の年齢別・内容別の計画を策定し、キャリアパスに連動して実施できるような園全体での研修計画の策定を望む。 	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生を毎年多数受け入れている。受け入れのフローチャート・手順書は整備され、積極的に受け入れ保育士の育成の一助をになっている。 ・今後は、実習・ボランティアと一緒にいるマニュアルを見直し、基本方針を明確にした実習生のマニュアル作成を望む。 	

		評価結果
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやパンフレット（保育園フェアでも配布している）に理念、基本方針、保育内容、計画等が掲載され情報公開が行われている。行事等の様子も写真でホームページに掲載されている。 ・今後は、園でも課題とされている「保育園の思い」も随時掲載して、積極的な情報発信を望む。 	
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・理事長（会計責任者）と園長（出納職員）とが相互チェックを行い、見積もり記録や購入記録が閲覧できるように書類を園内のLANに掲載し職員に周知している。 ・法人の監査は理事会に報告されている。今後はより透明性の高いものにしていくために外部監査も実施されることを望む。 	

		評価結果
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を年8回実施し、地域の子ども達との交流を広げる取り組みを行っている。また、地域の協議会にも参加し、情報交換や勉強会を行っている。 ・園の食育活動の様子を区の健康展に展示し、地域へのアピールを行う予定もある。 ・個々の子どもへの地域行事への参加や園としての地域行事への参加の模索を行い、地域に根付いた保育園になるよう一層の努力を望みたい。 	
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・手順書を策定して、図書館からの絵本の読み聞かせやエイサー（沖縄の踊り）の講師、体操教室などのボランティアの受け入れを行っている。また、中学生の職業体験も受け入れている。 ・ボランティア受け入れマニュアルを作成し、実習生との違いが見える形での取組みを期待する。 	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会福祉協議会、要保護児童対策地域協議会、子育て支援室、こども相談センター、保健福祉センター、障がい児自立支援協議会等と連携し、情報の共有、連絡体制の確立、会議等への参加を行っている。 ・職員と情報共有した内容を、関係機関と報告や話し合い、必要に応じて保護者とも連携している。 	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・園庭はないが年8回地域交流事業を行っている。また、夏祭りや運動会への参加も促している。その際に参加者によるフリートークや子育て相談にも応じている。 ・5階建ての園舎での災害時の活用を今後の課題とされたい。 	
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業の際の子育て相談には、積極的に取組を進め、地域の保育関連施設と連携して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 ・今後の課題として民生委員・児童委員との関係の構築と連携等と出前保育のような取組みを考え、公園等で未就園子ども達との交流も模索されたい。 	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益を理念・保育方針の中で明確にし、職員会議等でその都度確認し、中間期や年度末には振り返りシート（人事考課シート）を活用して、人権保育の取組を行っている。 	
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子どものプライバシー保護に配慮して保育が行われ、保育室内の記録や個人ノートもすぐに目に触れるところではなく戸棚に保管している。また、トイレも年齢に応じてドアが設置されている（低年齢児には無く、3歳児以上のトイレに設置されている。プールの際の着替えも、室内で行われ、外部からの視線は遮断されている。 ・必要に応じて、個別に対応できるように保健室などもあり、園としての取組をしている。 	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、理念・基本方針を分かりやすい文言になるように検討を行い改定した。また、パンフレット・ホームページ等にも保育内容を絵や写真を活用し保護者に分かりやすく掲載している。 	

31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の開始・変更にあたり、今年度は5月行った運動会の時期の変更、異年齢保育・延長保育の取り止めなど前年度より保護者に個別や全体での説明を行い、実施した。また、日本語の理解が難しい保護者が在園しているので、ルビの付いたお便りを配付し、保護者の理解が深まるように努力している。 	
32	Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮して、保護者の同意を得ながら引継ぎを行っている。やむを得ず集団保育が継続しない子どもへの相談の窓口を保護者に伝え、孤立しない方策を取っている。 ・今後は、継続性のある保育のための引継ぎの文書を策定することを望む。 	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保護者アンケートを2月に実施し、集計結果を保護者に知らせ、改善できるところから対策を行っている。 ・職員とも内容の共有を行い満足度向上に向け努力している。第三者評価の受審の調査のアンケートにも満足してるとの回答が多数を占めた。受審に際し、臨時職員も含めた話し合いが行われた。 	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決のための第三者委員を設置し周知されている。園内にも意見箱が置かれ、話がしやすい場（3階の保健室）が確保されている。 ・苦情解決には、即時性が必要なことから職員への素早い伝達と話し合いの場を持ち、職員間で共有して手順書に基づいて会議を開催し、解決につなげ、結果を記録に残している。苦情内容は苦情解決シートに記入し、内容については職員会議で検討し対応を行い全職員の共通認識をしている。 ・解決結果は保護者に伝えて保護者に配慮した上で公表している。 	
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置し、相談は何時でも誰にでも可能なことをお便りや送迎時の会話などからも知らせ、担当職員の名前を写真入りで玄関に掲示紹介している。 ・相談しやすい場所として3階の保健室を利用できるようにしている。 	
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決対応マニュアルを整備し、毎年見直しを行い職員に周知している。 ・相談内容や意見は記録し、活用している。相談内容に応じて、職員への周知と協議を行い、内容により保護者と話し合いの場を持ち、保護者の意見を取り入れて、保育内容の改善につなげている。 ・保護者からの意見を積極的に聴くシステムとして保育園から毎年アンケートを実施し、保護者に園の対応を掲示している。 	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの責任者を園長と定め、職員全員でのリスクマネジメント体制が確立している。昨年は危機管理に関するプロジェクトチームで研鑽検証を行い園内に潜む危険個所の点検や整備を継続している。手を挟んでしまう可能性のある扉の改善や段差の解消など危険防止に役立っている。 ・ヒヤリハット報告書や事故報告書も整備され、再発防止策を検討しリスク管理を行っている。 	
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防における手順書が整備されている。嘔吐の際の手順は室内に掲示され、各保育室に対応グッズが置かれている。 ・感染症発生時には、玄関に掲示するとともに、保護者に注意喚起の声かけも併せて行ってる。 ・見直しは適宜されているが、看護師の配置は考えていないとの回答であったが、感染症の予防のためには、看護師の配置を検討されることを望みたい。 	
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の子どもへの安全対策は、手順書に明記され、保育園立地個所のハザードマップ確認や食料品の備蓄も行われている。 ・避難訓練も毎月実施されているが、報告書への記載内容が全て避難訓練であり、内容が何の避難なのか、記録用紙を工夫し、地震、火災、不審者等別の記録が用意されることを望む。 	

			評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容については事前に必ず親に園に来て頂き、重要事項説明書や入園のしおりを用い理念の説明をしている。プライバシー保護についても明記し保護者の同意書を園で保管している。 ・保育の実施は保育会議で決定し、マニュアル類を設置している。 	
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議・事務所会議・保育会議・給食会議・週案会議などで実施に関わる内容を検討し定期的な会議の時期を定めている。 ・総括会議で検討し整理された内容は次年度の保育計画立案に活用している。 ・3歳児未満や支援を要するに児童については個別支援計画を立て会議で検討し実施している。 	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の保護者面談で入園の説明を書類で説明し、個別に聞き取りの面談を「面接カード」に記入し職員間で情報共有化により指導計画を策定している。 ・家庭訪問や懇談を通じてニーズの把握や、配慮を要する児童についても保護者確認の基本支援計画を策定している。 ・食物アレルギーのある児童については、献立表を配付し自宅でアレルギーのチェックと未食の場合も保護者に説明している。 	
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は職員会議・保育会議・事務所会議・週案会議・給食会議・クラス会議で定期的に評価と見直しをPDCA【Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)】サイクルで実践している。 ・年度末には各種委員会やクラスごとの会議で保育内容全般の総括と課題の明確化を行い全体会議で確認している。 	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施状況は個別支援・児童表・児童要録・指導計画書などを統一した様式を用いて記録し職員間で共有している ・統一された記録の内容、職員間で共有できる「書き方研修」を重ねている。 ・園長・副園長が記録の内容をすべて確認し、指導している。 	
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に個人情報保護法の説明を保護者に行い、個人情報保護規定を定め園長を責任者としている。 ・会議等で職員にも日常的に個人情報の適正な管理について指導し職員も同意書を提出している。 ・記録内容はファイルし鍵付きのキャビネットで保管している。 	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階を踏まえ園の方針・理念に基づき、全職員参画のもと目標を全職員で共有し保育課程を編成している。 ・保育課程は各指導計画と連動して年間計画・月案など定期的に見直している。 ・作成に地域性や家庭環境を考慮し、園の保育の特性を取り入れている。 	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検や部屋・トイレなど清掃を入念に行い、玩具の消毒と乾燥を行っている。部屋の温度・湿度や外気温に夏期は暑さ指数を毎日表示し、水分補給を心がけている。食事はランチルームを使用し衛生面を考慮して清潔に保ち、落ち着いて食事がとれるようにしている。 ・部屋には子どもの最適な空間作りのため、天蓋を吊して高さの工夫をしている。屋上庭園は夏場にはプール使用時に日差しを遮るテントを張っている。 ・人的環境としては育児担当制保育を導入し愛着関係を築き、子どもが落ち着いて過ごせる様に職員の話し方に気をつけている。 	
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児は育児担当制を導入し、きめ細かく子どもの状態を把握している。子どもの育ちを見極めて、一人ひとりの気持ちを尊重し穏やかに肯定的な言葉かけを行なっている。 ・保育会議でも子どもへの対応の在り方について、愛着や信頼関係ができるように議論し実践に活かしている。 ・登園時は、子どもが自分から保育室に入り安心して一日が過ごせるように心配りをしている。 	
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児は育児担当制保育を導入、同じ保育士が関わり愛着関係を築いた上で子どもの成長に寄り添っている。 ・担任以外でも一人ひとりに丁寧に関わり発達に応じた目標を共通認識で連携をとり援助している。午睡は安心して眠りにつけるように、子守歌、室内の暗さや室温に配慮し観察出来るようにして安全確認している。 ・個々の子どもの主体性、リズムや意思を尊重しながら、基本的な生活習慣が身につくように進めている。 ・子どもの発達や、興味・関心に合わせて環境を設定し自分で遊びが選択出来るようにし、視覚で分かるようにおもちゃの分類や配置に考慮している。健診に関する事は内科検診・歯科健診・視力検査等の話しや日常では手洗い・うがいの仕方と実践に取り組んでいる。 	

A⑤	A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児は異年齢保育をすることで互いの刺激や優しさ・コミュニケーション能力を育てることを大切にしている。 ・子ども達が自発的に遊べるように書き物用具や材料を揃え安全に見守りながらやりたい気持ちを育てている。 ・サークルタイムを設け全員が順番に発言出来る場を作っている。ほぼ毎日公園に行き身体を動かして遊び公園の行き帰りに四季の草花を眺め、地域の方と挨拶や話しをし社会のルールを学んでいる。 	
A⑥	A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児が心地よく過ごせるように季節に応じた環境を整え、育児担当制保育を行い愛着を深め家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるようにしている。 ・健康状態に留意し検温・午睡チェック表・排泄チェック表で保健的配慮を行っている。 ・お便り帳で日々の保育の内容や育ちについて保護者と連絡し保育参加や育児相談の機会もある。 	
A⑦	A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連絡ノートを活用し、日課を考えて子供のリズムを整えている。 ・育児担当保育で個別に配慮でき基本的な生活習慣が身につくように子どもに寄り添った援助が出来ている。 ・個人面談時に日頃の成長を伝えている。 	
A⑧	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・各ファミリーと子ども一人ひとりの育ち・発達段階を把握し、環境を整え、子どもの気持ちをしっかり受けとめた保育を実践している。 ・異年齢保育では互いに刺激を受けあいながら、共生・人間力助け合いながら成長できるようにしている。運動会・卒園式・夏祭りなど協同活動の成果を地域の人に披露している。 	
A⑨	A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子どもも園全体で「共に育つ」を意識して関わっている。個別支援計画・指導計画を作成し保護者に説明し職員間で共通認識を持ち支援している。 ・障がい児保育に関する研修を受け、理解と支援方法など専門的知識とスキルの向上で保育の質を高めている。 	
A⑩	A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体制で遅出勤務の保育士が長時間引き継ぎボードの活用で、職員間の連携が図られている。延長保育は行っていない。 ・皆で仲よく過ごせるように玩具や絵本などで保育環境に十分配慮している。 	
A⑪	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・就学にむけては、児童要録を作成し小学校教員と子どもの様子や家庭状況など確認している。 ・指導計画の中で小学校の連携や就学に関する事項に基づき保育を行っている。 ・5歳児全員の保護者と就学に向けての懇談を一家庭ずつ行い安心に繋げている。 	

A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども健康マニュアルを作成、保健計画の中で職員間の共通理解に務めている。 ・健康管理では「健康観察表」を用い体調管理を行い送迎時に保護者から様子を聞き情報把握につとめている。 ・「SIDS 一乳幼児突然死症候群」についても対応マニュアルを作成、職員は外部研修や内部研修を行い知識を深め午睡チェックは入念に行っている。 ・感染症や保健に関する内容はエントランスに掲示、情報発信している。 	
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断・歯科健診の結果を健康ノートに「健康診断記録」を記入し、保護者に知らせ必要に応じて病院受診を勧め、受診結果の報告を受け以後の保育に活かすようにしている。 ・日頃から手洗い・うがいの大切さを園で教えて実践（食後のうがい時や手洗いの際には必ず保育士がそばについて、確認指導声かけ等）を行っている 	
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応ガイドラインに基づき園のアレルギー対応マニュアルを作成し、職員は研修を受け実践している。 ・医師の指示書に基づいてアレルギー疾患や慢性疾患に対応し、栄養士・調理師の連携で献立作成している。 ・メニューの確認は複数職員で行いアレルギー食の配置やテーブルを明確にして誤飲・誤食の無いようにしている。 	
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間食育計画を作成し旬の食材や菜園活動で収穫した食材を使用したり、季節の行事にあわせたメニューを提供している。 ・ランチルームや食事スペースを分け集中できる環境で温かいものは温かくごはんは炊飯器から自分で入れる、副食はIHヒーターで保温して配膳している。 ・給食献立の写真で子どもは期待感を持ち、保護者は保育参加で給食やおやつも試食することで、家庭でも食の関心を深めるための取り組みをしている。 	
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・「食育マニュアル」「離乳食マニュアル」「衛生管理・厨房マニュアル」などあり献立会議を月1回行い栄養管理やメニューや喫食状況、残食量の確認しその日に食事の感想を厨房に伝えている。 ・支援が必要・嚥下が弱い・アレルギー疾患・その日の体調に合わせて食べやすくする配慮をしている。 	

	評価結果
--	-------------

A-2 子育て支援		
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に保護者から直接口頭で話して情報交換を行ない、乳児はおたより帳、幼児は公開日誌などで保育園での様子を伝えている。クラス懇談、個人懇談、クラスだより、園だよりなどで子どもの様子を伝えて、エントランスに子どもの活動などを掲示している。保護者が参加する夏祭りや発表会で園での様子を観てもらい、理解と協力を得ている。 	

A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に保護者と対話し、子どもの様子を積極的に伝えて家庭訪問、懇談、保育参加の後のサロンで保護者の思いに寄り添い信頼関係を築いている。 ・必要時は個人面談で保護者の相談内容を聴き適切な助言が出来るように努めている。 	
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止や発見時の対応に関する「児童虐待マニュアル」「緊急マニュアル」を作成し、全職員で研修を行い周知徹底している。 ・登園時子どもの「朝の健康観察」や身体測定、シャワー時や衣類着脱時に子どもの視診や子どもと話をし虐待の早期発見に努めている。 	

	評価結果
--	-------------

A-3 保育の質の向上		
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間…月間・週間・個別の指導計画を実施する時PDCAを意識して日々の保育を自分自身で振り返り、自己評価・反省を行っている。 ・保育計画作成では特に、反省点を重視して次に繋げる努力をしている。保育士は今年から「トライアルシート」を用い各自で目標を設定し保育の質の向上に繋げている。毎日何をしたかの記録があるが、振り返りの内容が経時記録と一緒に記載されている。 ・振り返り内容を別枠で記録することで、担当者以外でも閲覧が容易になり、また意識的に書かれた記録を実践に繋げることを期待する。 	

	評価結果
--	-------------

A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A㉑	A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス規程には体罰の禁止を明記されているが、「就業規則」等の規程には暴行・脅迫・監禁等の行為について明記されていない。 ・不適切な対応の防止について職員全体で研修を行い、意見交換ができる職場環境づくりと早期発見の取り組みをしている。 	

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	みさき佃保育園を利用中の子どもの保護者
調査対象者数	37/58世帯
調査方法	アンケート調査による。(アンケート用紙は、保育園に依頼し保護者に受取人払いの封筒を添えて直接手渡し、回収は保育園に設置した回収箱への投入、または郵便で評価機関へ直接返送してもらう方法を採用した。)

利用者への聞き取り等の結果(概要)

現在、みさき佃保育園を利用している子どもの保護者58世帯に対し、1世帯1アンケート用紙を配付し、内37通を回収した。回収率は、64%であった。

○満足度100%の項目

- ・ 保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。
- ・ 保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・ 園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。
- ・ 健康診断の結果について、園から伝えられていますか。
- ・ 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていますか。
- ・ 給食のメニューは、充実していますか。

○満足度90%以上

- ・ 入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が軽減しましたか。
- ・ 入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか。
- ・ 保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」や「園だより」などを通じて説明がありましたか。
- ・ お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。(いいえ)
- ・ 送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。
- ・ 懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

○満足度80%以上

- ・ 入園前に、あなたの都合や要望にあわせた見学を受け入れてくれましたか。
- ・ お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。
- ・ 日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面談などを行ったりしていますか。

○園の特徴などに関わる自由記述は以下の通りである

- ・ アットホームで、目が良く行き届いている。
- ・ 育児担当制で、子どもが安心・安定して過ごせるようにしている。
- ・ 3~5歳児は縦割り保育を実施して、異年齢交流がある。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等